

シラバス参照

科目名	日本語学講義E
教員名	小木曾 智信
科目No.	125232500
単位数	2
配当年次	2年生
開講年度	2019
開講時期	前期

テーマ・概要	<p>昨今、コーパスにもとづいた言語の研究が注目を集めている。コーパスとはコンピュータに蓄えられた大規模な言語資料のことで、これにより従来では行うことのできなかつた研究が可能になった。日本語学においてもコーパスを活用した研究が進み、研究の基本資料として欠かせないものになりつつある。この授業では、『現代日本語書き言葉均衡コーパス』を中心に、コーパスの概要、コーパス構築に用いられている技術、コーパスの利用方法などについて講義する。後半では、実際にコーパスを使って各自の課題について調査する実習を行う。</p>			
到達目標	<p>コーパスを利用して各自の課題について調査する方法を身につける。</p>			
授業の計画と準備学習	回数	授業の計画・内容	準備学習(予習・復習等)	準備学習の目安(分)
	第1回	イントロダクション	紹介するWeb上の資料を読んで復習する。	60分
	第2回	日本語コーパスの紹介(1) コーパスの概要	配布する資料を読んで復習する。	60分
	第3回	日本語コーパスの紹介(2) コーパスの設計とサンプリング	配布する資料を読んで復習する。	60分
	第4回	コーパスの形態論情報と形態素解析 「Web茶まめ」の利用	形態素解析に仕組みについて復習し、自分で解析が行えるようにする。	60分
	第5回	Web版コーパス検索ツールの利用 (1) 「中納言」の紹介	「中納言」の基本操作を復習する。	90分
	第6回	Web版コーパス検索ツールの利用 (2) 「中納言」の利用	「中納言」の操作方法に習熟する。	90分
	第7回	検索結果の集計と分析(1) 表計算ソフト	検索結果を集計する方法について復習する。	90分
	第8回	検索結果の集計と分析(2) ピボットテーブル	ピボットテーブルの操作に習熟する。	90分
	第9回	検索結果の集計と分析(3) データの加工と集計	文字列関数などを用いたデータの処理方法を復習する。	90分
	第10回	レポートに向けた調査と質問(1)	レポートで取り上げるテーマを検討し、コーパスで調査する。	120分
	第11回	レポートに向けた調査と質問(2)	レポートで取り上げるテーマを検討し、コーパスで調査する。	120分
	第12回	テーマ発表(1)	レポートで取り上げるテーマについてスライドにまとめ発表を行う。	120分
	第13回	テーマ発表(2)	レポートで取り上げるテーマについてスライドにまとめ発表を行う。	120分
	第14回	文書構造を意識したレポート執筆 Wordのスタイル機能、相互参照等	レポートで取り上げるテーマについて調査し、レポート執筆に着手する。	120分
第15回	まとめ	レポートで取り上げるテーマについて調査し質問項目をまとめる。(予	120分	

	回	習) レポートのための調査・執筆を継続する。
授業の方法	コンピュータに教材を提示しながら講義するとともに、各自がパソコンを操作する実習を行う。 ただし、受講者の人数によっては方法を変更する場合がある。	
成績評価の方法	授業参加状況(40%)・小レポート(10%)・期末レポート(50%)等を総合して評価する。	
成績評価の基準	成蹊大学の成績評価基準(学則第39条)に準拠する。/Grades in the course are based on the criteria of Seikei University Regulation No.39.	
必要な予備知識/先修科目/関連科目	特になし。	
テキスト	特定の教科書は使用しない。Webページの形で提示するほか、必要に応じてプリントを配布する。	
参考書	授業時に紹介する。	
質問・相談方法等(オフィスアワー)	授業終了後に教室で受け付けるほか、授業時に紹介するメールアドレスで対応する。	